

はたらくネット

企業で働く障害のある方や障害のある方を雇用している企業様の、「笑顔」とそれぞれの「想い」をお伝えします。

今回は、「プルデンシャル生命保険株式会社」様をご紹介します。プルデンシャル生命保険株式会社ドライデンカスタマーセンター様は、2004年に東京本社に次いで第二本社として仙台市泉区に設立されました。

現在、勤務する社員数は、派遣社員を含め約400名です。障害者雇用は、設立当初から進めており現在21名の方が活躍されております。

ドライデンカスタマーセンターでは、主に生命保険の契約管理業務や、営業社員のサポート、お客様からのお問合せへの対応などを行っています。



プルデンシャル生命保険株式会社 ドライデンカスタマーセンター

障害のある方を雇用している企業の方

プルデンシャル生命保険株式会社 総務(DCC担当)チーム チームリーダー
山内 享様

<働くなかで大切にしていることは>



コミュニケーション

お互いにコミュニケーションをとる！

Respect for Each Other

お互いに尊敬しあうこと！

左から 総務(DCC担当)チーム チームリーダー
総務(DCC担当)チーム
ライフプランナーサポートデスクチーム
ライフプランナーサポートデスクチーム チームリーダー

山内 享様
渡邊 朋美様
伊藤 和幸様
中村 未希様

山内様にお聞きしました！

(1) 障害者雇用してよかったことは？



総務（DCC担当）チーム
チームリーダー 山内様

総務（DCC担当）チームでも2名の方が就業されていますが、チームメンバーにとって大きな刺激になっていると思います。特に、仕事の指示の仕方やマニュアル等を見直すきっかけになっていると思います。今までは、「だいたい」「いつも通り」のような曖昧な表現で仕事を進めていましたが、恥ずかしながら、それが本当に分かりづらい表現だったと改めて気づかされました。仕事の進め方を改めて見直すことで、一緒に仕事をするメンバーのスキルアップにつながっていると思います。障害の有無に関わらず、お互いに高め合っていければと思います。

(2) 障害のある方と働く上で配慮した点は？

就労移行支援事業所（※1）や仙台市障害者就労支援センターの方にご協力いただき、配属予定のチームを対象に入社前の勉強会を行っています。管理者を中心に、チームメンバーが障害の種類や特性などを学習し、少しでも入社後の接し方をイメージできるようにするためです。入社後は、周囲のメンバーが積極的に声掛けを行い、コミュニケーションを取るようになっています。障害の特性にもよりますが、管理職や採用担当者だけでなく、チーム全体で関わっていただけたいと考えています。また、一人ひとりの状況に合わせて休憩を柔軟にとれるように配慮しています。その方にとって最も働きやすい環境を一緒に模索していきたいと思っています。

館内設備についても、全館バリアフリー、多目的トイレ、エレベーターを完備しております。聴覚障害のある方も多数活躍されていることから、吸音材つきの壁があるなど、働きやすい環境を目指しています。



休憩スペース

(3) 業務の切り出しはどのようにしていますか？

障害の状況に応じて、定型的な仕事を切り出すようにしています。業務をこなせるようになったら、徐々に業務範囲を広げています。その方の特性に合わせて業務を切り出すことが多いと思います。管理者やトレーナーと相談しながら、得意分野・不得意分野をお互いに探っていくイメージです。障害や、本人の特性・性格を知り、関係性を深めながら徐々に進めていきたいと考えています。急に決まった仕事を任せて最後までやる、というよりも業務のアンマッチがあった時に言いだしやすいことや、こちらも特性を把握しながら仕事を任せることができるので、自然とこのやり方になりました。障害の有無に関わらず、誰にでも得意不得意はあるものです。自信を持って活き活きと働いてもらいたいと思っています。

（※1）就労移行支援事業所…就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う福祉サービス事業所

(4) 支援機関と関わるメリットは？

月に1回、就労移行支援事業所や仙台市障害者就労支援センターの方と定着支援面談を行っています。定着支援面談は2部構成になっていて、前半は本人と就労移行支援事業所の方との2者面談、後半は管理職や総務(DCC担当)チームも加わった面談です。体調や業務上の悩み、会社に配慮してほしいことなどを話し合える機会を必ず作るようにしています。面談といっても堅苦しいものではなく、管理者から「最近どう？」というようにフランクで話しやすい雰囲気を進めています。就労移行支援事業所の支援員の方の視点から、配慮すべき点や体調の波についてアドバイスを頂けることが一番のメリットです。ときには、本人も気づいていないような変化や不調を指摘してもらったり、「これから暑くなる季節だから気を付けてね」というように事前アドバイスをもらったりできることで、本人だけでなく私達も本当に助かっています。また、会社以外の第三者に悩みを話すことで、気持ちの整理が付きやすいという声もあります。

就労前から就労移行支援事業所等を利用していた方も多く、その場合は通所していた就労移行支援事業所等に継続して定着支援を依頼しています。支援機関と既に信頼関係ができているため、プライベート面まで相談できるなど、安心できる相談窓口になっているように感じます。



～企業から一言メッセージ～

○ 就職を目指す方へ

周囲とコミュニケーションをとるスキルは、どこにいても役に立つと思います。就職活動や関係機関との関わりの中で、前向きに頑張ってもらいたいです。

○ 企業の方へ

障害者雇用は、既存の社員へ良い影響を与えたり、職場・業務の在り方を見直したりするきっかけになると思います。会社にとっても大きなメリットがあるものという見方がもっと広まれば良いなと思います。

○ 就労を支援している方へ

支援者の皆さんが架け橋となって下さることで、障害を持つ社員のサポートや、働く環境を整えることができます。企業側は知識も少ないので、いつも本当に助かっています。

ブルデンシャル生命保険株式会社様で仕事をしている障害のある方

○ブルデンシャル生命保険株式会社様で働くことになった経緯を教えてください。

障害福祉サービスの自立訓練（※2）を利用後、同じ母体で行っている就労移行支援事業を利用しました。そこで仙台市障害者就労支援センターから企業説明会の案内があり、参加しました。実際に見たことで職場の雰囲気が分かり、働くイメージを持つことができました。一番心配だったのが平日の通院日の確保でしたが、傷病休暇制度があることを知り安心して長く働けると思いました。

○働くにあたって、会社からどんな配慮をして頂きましたか？

はじめの頃は緊張が強かったので、1～2時間おきに休憩を入れる配慮を頂いていました。また、体調に合わせてOJTのスケジュールも柔軟に変更してもらいました。徐々に助走をつけさせてもらったので、順調に仕事に慣れていくことができました。

○働いていてよかったことは？

周りから感謝してもらえるのが嬉しいですね。直接「ありがとう」と言ってもらえる以外にも、「コアバリューレター」という社員同士が感謝の気持ちを送りあう仕組みもあります。もらったときは感動しました。今でも大切に取っています。

○自立訓練や就労移行支援事業所から受けて良かったサポートは？

支援施設のプログラムを通して、SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）でコミュニケーション能力を磨いたことや、スポーツ大会でのリフレッシュ、パソコン実習や就職面接の対策などを支援していただいたことです。施設に通うのも、はじめは週2日、1日2～3時間通うのが精いっぱいだったのですが、スタッフの方と相談しながら、時間をかけてステップアップしていくことができました。今とはまるで別人です。近道はありませんでした。

○これからの目標は？

業務を通して、知識や経験が不足しているのを感じています。業界共通試験の受験や、IT関連の資格取得など、少しずつスキルアップして業務に生かしていきたいです。



業務中の様子。後ろにトレーナーがおり、業務上の疑問が解決できる。

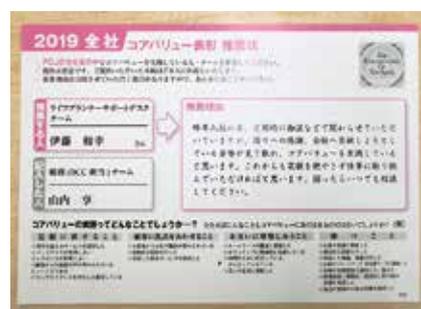


伊藤さんのパワーフードは「カレー」。現在は食堂閉鎖中のため、ふりかけで。

<あなたにとってはたらくとは？>
（「生きる」ではなく）「生きる」こと。



企業名 プルデンシャル生命保険株式会社様
氏名 伊藤 和幸様



コアバリューレター

（※2）自立訓練…自立した日常生活や社会生活ができるよう、生活能力向上のために必要な訓練を行う福祉サービス

発行：仙台市障害者就労支援センター（指定管理者：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会）

住所：仙台市泉区泉中央2丁目1-1 泉区役所東庁舎5階

電話：022-772-5517 FAX：022-772-5519

Eメール：info@sendai-wsc.jp ホームページ：http://www.sendai-wsc.jp/